

平成 15 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 タテホ化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 平松 博久
コード番号 4104 大証第 1 部
問合せ先 取締役経理部長 岡田 一
TEL (0791)42-5041

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正について

最近の業績の動向を踏まえ、昨年11月21日の中間決算発表時に公表した平成15年3月期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成15年3月期業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年11月21日発表)	4,850	500	300
今回修正予想(B)	4,918	446	197
増減額(B - A)	+ 68	54	103
増減率	+ 1.4 %	10.8 %	34.3 %
前期(平成14年3月期)実績	4,787	878	822

2. 15年3月期連結業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年11月21日発表)	5,700	500	220
今回修正予想(B)	5,694	374	89
増減額(B - A)	6	126	131
増減率	0.0 %	25.2%	59.5 %
前期(平成14年3月期)実績	5,689	699	797

3. 修正の理由

(1) 単独決算

電熱用マグネシアの拡販等で増収となりますものの、経費増、アメリカ現法からの配当金の減少等により経常利益は減益となり、更に窯業用マグネシアに関する共同事業出資金をパートナーに譲渡する方針を決定したことに伴う評価損を特別損失として計上し、当期利益も減益となる見込みであります。

(2) 連結決算

単独決算での減益に加えて、原油価格上昇による製造子会社の収益悪化、アメリカ現法の低迷、今期から稼働を開始した中国現法の開業費用の負担増等があり、減益となるものと見込んでおります。

配当予想の修正について

当社は、本日開催の取締役会において、平成15年3月期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)の期末配当金を1株当たり3円とする(復配)議案を平成15年6月27日開催予定の定時株主総会に付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当予想修正の理由

当社は昭和62年6月の利益配当金を最後に15年間無配であり、また、上述のとおり業績も未だ回復途上であります。しかし、電融マグネシア事業に関して国内はPDP用等のマグネシア単結晶を中心とし、海外では汎用の電熱用マグネシアを中国で生産する等の当社構造改革にメドがたち今後の収益力向上が見通せる状況になってきたこと、更に、本年3月末に返済期限の到来した借入金(残高5,225百万円)の借り替え(残高を10億円以上圧縮)等で財務体質が改善できたこと等を考慮し、本3月期から利益配当金を復活することが、株主各位の長年のご支援にお応えする方法であると判断いたしました。

2. 修正の内容

	中間期	期 末	年 間
前回予想(平成14年11月21日)	0円00銭	0円00銭	0円00銭
今回修正予想	0円00銭	3円00銭	3円00銭
(ご参考)前期の1株当たり配当金実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭

以 上